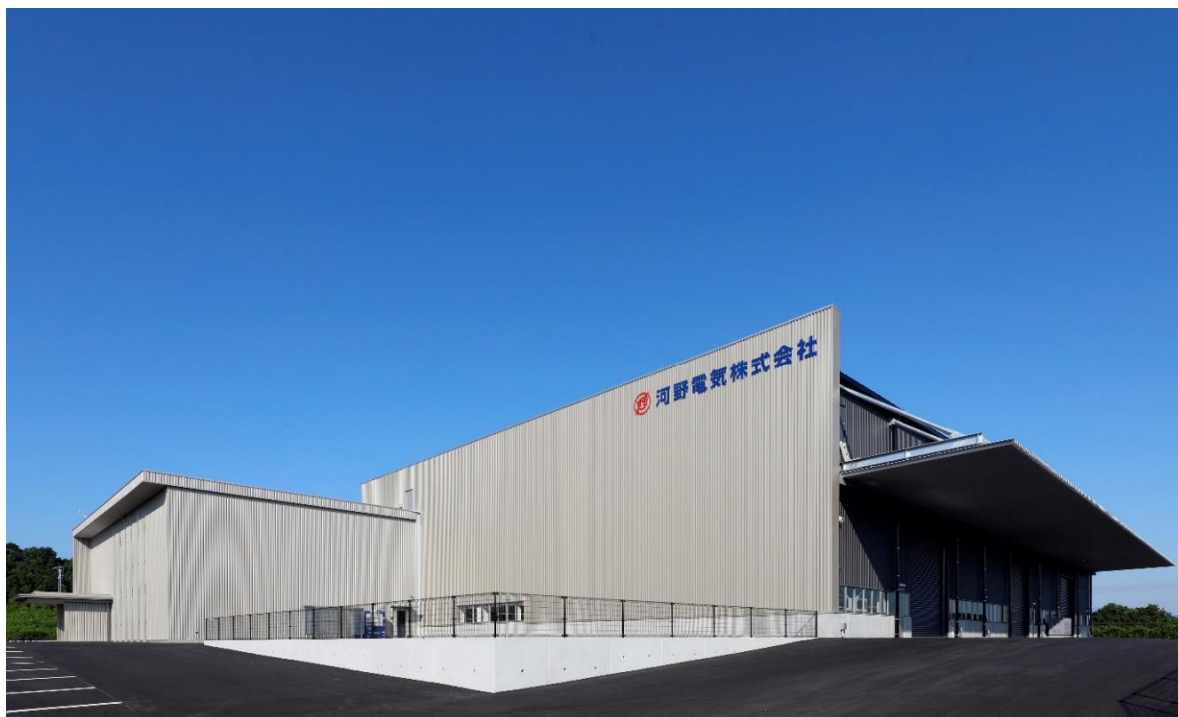


エコアクション21



# 環境経営活動レポート

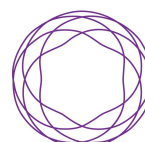
対象期間: 2024年6月1日～2025年5月31日



発行日: 2025年8月28日



## 河野電気株式会社



地域未来牽引企業

# 河野電気株式会社 SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

2021年8月12日  
河野電気株式会社  
代表取締役社長 南 公憲

## SDGsの達成に向けた取り組み

### 「電気」をトータルサポート

大正12年の創業以来、長年培ってきた技術を活かして、「電気」に関するお客様のニーズに対して、最適・最速のソリューションでお応えいたします。

#### 【具体的な取り組み】

- ・品質マネジメントシステム「ISO9001」認証取得
- ・法令、社内規定の遵守 ・品質管理課の設置
- ・設計から検査までの工程の一貫生産体制を構築
- ・住まいのおたすけ隊によるお困り事の解決
- ・電気工事を通した地域インフラの整備
- ・安全衛生協議会や安全パトロールによる防災防止の徹底



### 活気のある会社

従業員一人ひとりが安心して働ける環境を整備するとともに、積極的な人材育成により、成長を実感できる活気のある職場づくりを目指しています。

#### 【具体的な取り組み】

- ・女性活躍推進宣言 ・「大分市子育て支援中小企業」選定
- ・資格試験補助による公的資格の取得促進
- ・充実した教育制度 ・社内技能コンクールの実施
- ・社員旅行などの充実した社内イベント
- ・経営方針発表会の開催 ・ハラスメント教育の実施
- ・産業医により健康管理サポート



### 環境対策

事業活動を通して、人と自然の共生のために、地球環境保全と環境負荷の低減を積極的に推進し、持続可能な低炭素社会及び循環型社会の実現に貢献してまいります。

#### 【具体的な取り組み】

- ・「エコアクション21」認定取得
- ・自社に太陽光発電設備を設置
- ・太陽光発電設備の販売、施工
- ・グリーン購入の推進
- ・廃棄物の削減と分別徹底によるリサイクル推進
- ・節水による水使用量削減



### 地域・社会への貢献

企業が継続的に活動できるのは、地域・社会の協力があつてのことという思いのもと、地域貢献活動などを通じて、地域・社会に恩返しを行ってまいります。

#### 【具体的な取り組み】

- ・「地域未来牽引企業」認定（経済産業省）
- ・大分県小規模集落応援隊
- ・地域の清掃活動に参加
- ・インターンシップの受入れ
- ・地域の防災活動に参加
- ・CSR推進委員会の設置



### SDGsとは

SDGsとは、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。「地球上の誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能な社会の実現を目指しており、経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成されています。

# 目 次

1. 組織の概要	1
2. 実施体制	2
3. 環境経営方針	4
4. 各事業所の取り組み	
A 本社の取り組み	
A-1. 環境経営目標	5
A-2. 環境経営目標の達成状況及び環境経営活動計画の実施状況、 その評価結果と今後の取り組み	6
A-3. 環境経営活動計画と評価	9
A-4. 環境関連法規等の遵守状況のチェック結果	10
A-5. 代表者による全体の評価と見直しの結果	11
B 配電盤事業部の取り組み	
B-1. 環境経営目標	12
B-2. 環境経営目標の達成状況及び環境経営活動計画の実施状況、 その評価結果と今後の取り組み	13
B-3. 環境経営活動計画と評価	17
B-4. 環境関連法規等の遵守状況のチェック結果	18
B-5. 代表者による全体の評価と見直しの結果	20
5. 全社の環境経営活動実績値	21
6. 取り組み事例の紹介	22
7. 次年度以降の目標	27

# 1. 組織の概要

## ① 事業者名、代表者名

河野電気株式会社  
代表取締役社長 南 公憲  
創業 大正12年6月1日  
設立 昭和33年12月24日  
資本金 50,000千円

## ② 事業所

本社 〒870-0816 大分県大分市田室町8番33号  
配電盤事業部 〒870-0319 大分県大分市大分流通業務団地3丁目3番2  
住友化学事業所 〒870-0106 大分県大分市大字鶴崎2200番地 住友化学(株)大分工場内  
佐賀関事業所 〒879-2201 大分県大分市大字佐賀関字藤生3274  
旭化成事業所 〒870-0303 大分県大分市大字里2620番地 旭化成(株)大分工場内  
大分コンビナート事業所 〒870-0189 大分県大分市大字中ノ洲2 大分コンビナート構内

## ③ 環境管理責任者名および担当者連絡先

環境管理責任者 代表取締役社長 南 公憲

担当者 総務部資材1課 担当者 総務部資材2課 担当者  
総務部総務1課 担当者 総務部総務2課 担当者

連絡先 < 本社 > < 配電盤事業部 >  
電話 097-544-3131 電話 097-535-8771  
FAX 097-543-7567 FAX 097-535-8772

## ④ 事業内容

1. 建設業(電気工事業、土木工事業、管工事業、機械器具設置工事業、電気通信工事業、消防施設工事業)
2. 配電盤設計製作
3. 電気機器・産業機器(電気制御機器)販売

## ⑤ 事業規模

[本社]				
活動規模	単位	2022年	2023年	2024年
工事件数	件	647	874	795
売上高	百万円	1,647	1,444	1,517
従業員数	人	64	65	64
床面積(事務所)	m <sup>2</sup>	432	432	432
床面積(倉庫)	m <sup>2</sup>	259	259	259

[配電盤事業部]				
活動規模	単位	2022年	2023年	2024年
売上高	百万円	867	1,008	1,188
従業員数	人	59	58	56
床面積	m <sup>2</sup>	3972	3972	3972

## ⑥ 事業年度

8月1日～翌年7月31日

## ⑦ 対象範囲

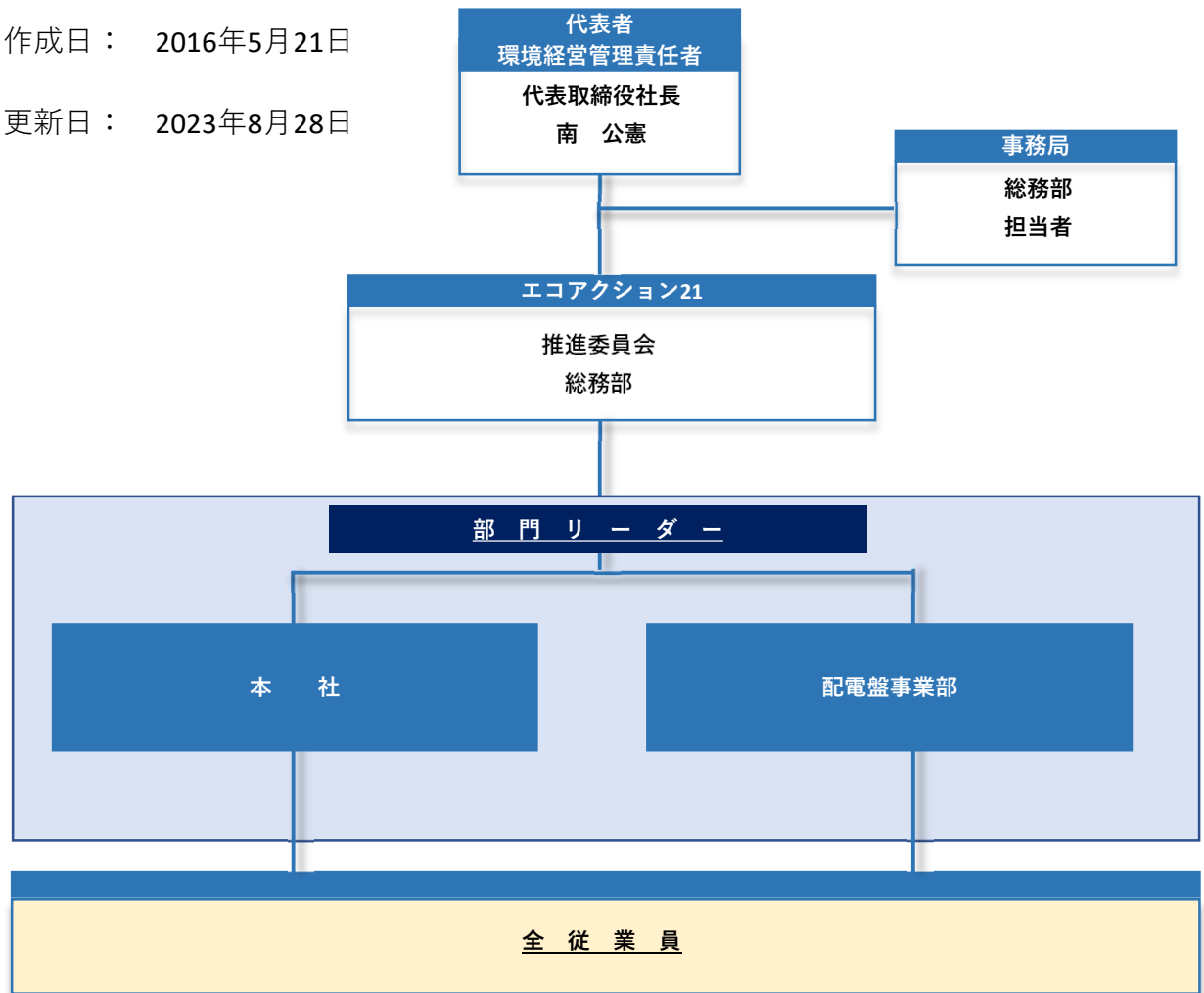
本社、配電盤事業部  
住友化学事業所・佐賀関事業所・旭化成事業所・大分コンビナート事業所は他社の管理下において  
取り組みがあるため適用を除外する。(サイト認証)  
1

## 2. 実施体制

### ① エコアクション21組織

作成日： 2016年5月21日

更新日： 2023年8月28日



## ② エコアクション21役割と責任及び権限

	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境経営に関する統括責任者</li> <li>・ 環境経営に必要な経営資源（人・物・資金）を準備する</li> <li>・ 環境経営管理責任者の任命</li> <li>・ 環境経営方針を定める</li> <li>・ 環境経営目標及び環境経営活動計画、実施体制を承認する</li> <li>・ 代表者による全体の評価と見直しを実施する</li> <li>・ 環境経営活動レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境経営システムの構築、運用、管理に関する責任者</li> <li>・ 環境経営システムの運用、管理状況を代表者に報告する</li> <li>・ エコアクション21推進委員会の責任者</li> <li>・ 環境経営関連法規等のとりまとめ表の承認、遵守状況チェック結果の承認</li> <li>・ 各部門の環境経営目標、環境経営活動計画、実施体制の確認と全体調整</li> <li>・ 環境上の緊急事態の想定及び対応策の承認</li> <li>・ 問題点の是正及び予防処置の承認</li> <li>・ 環境経営活動レポートの確認</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境経営管理責任者の補佐、エコアクション21推進委員会の事務局</li> <li>・ 環境経営関連文書、記録の管理</li> <li>・ 環境経営活動に関する実績のとりまとめ</li> <li>・ 外部環境コミュニケーションに関する窓口</li> <li>・ 環境経営活動レポートの作成</li> </ul>
エコアクション21 推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境経営目標、環境経営活動計画の伝達</li> <li>・ 全社の意思統一、意見交換及び相互・全体評価の実施</li> <li>・ 各部門の実施状況、目標達成状況、問題点などの報告</li> <li>・ 効果的な環境経営活動に向けての提案・意見の交換</li> </ul>
部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自部門における環境経営活動及び環境経営活動計画の企画・作成・実施</li> <li>・ 自部門における環境経営活動の実施、目標達成状況を委員会に報告する</li> <li>・ 自部門に必要な手順書などの作成、管理</li> <li>・ 自部門の問題点の発見及び是正、予防処置を実施する</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境経営方針、環境経営目標などの理解と自らの役割を自覚する</li> <li>・ 自主的、積極的に環境経営活動に参加する</li> </ul>

### **3.環境経営方針**

#### 基本理念

当社は、事業活動を通して、人と自然の共生のために、地球環境保全と環境負荷の低減を積極的に推進し、持続可能な低炭素社会、及び循環型社会の実現に向けて、全社一丸となって取り組みます。

#### 基本方針

1. 省エネルギーを推進し、二酸化炭素排出量を削減します。
2. 廃棄物の発生を削減するとともに分別を徹底し、再利用・再資源化を推進します。
3. 節水に努め、水使用量を削減します。
4. グリーン購入を推進します。
5. 周辺地域の清掃活動及びボランティア活動など、環境保全活動に積極的に取り組みます。
6. 環境関連法規を遵守します。
7. 以上6項目を全従業員に周知し、環境経営の継続的改善に努めて参ります。

制 定 日 2016 年 6 月 1 日  
河 野 電 気 株 式 会 社  
代表取締役社長 南 公憲

## 4. 各事業所の取り組み

### A 本社の取り組み

#### A-1. 環境経営目標

(2024年度:2024年6月～2025年5月)

環境方針 の番号	選 択 課 題	実績 過去3ヶ年(基準)	2022年度 目 標 (基準年度比)	2023年度 目 標 (基準年度比)	2024年度 目 標 (基準年度比)
1	二酸化炭素排出量削減	178,864 kg-CO2	177,075 △1%	175,286 △2%	173,498 △3%
1-1	電力使用量削減	62,870 kWh	62,241 △1%	67,774	77,144 ※1
1-2	ガソリン使用量削減	53,421 L	52,886 △1%	52,352 △2%	51,818 △3%
1-3	軽油使用量削減	7,206 L	7,134 △1%	7,062 △2%	6,990 △3%
2-1	可燃物の削減	1,964 kg	1,944 △1%	2,309	2,286
2-2	産業廃棄物リサイクル率 の維持向上	78 %	80%以上	80%以上	80%以上
3	水使用量削減	223 m <sup>3</sup>	221 △1%	252	248
5	社会貢献への参加	10 回	10	10	10

電力のCO2排出係数は、九州電力 2021年度0.391kg-CO2/kWh(調整後排出係数)を使用。

※1 目標設定の見直し。(実績値を基に15%の見直し)

※「4.グリーン購入」は、目標として記載しないが環境活動の一環として取組む



A-2. 環境経営目標の達成状況及び環境経営活動計画の実施状況、その評価結果と今後の取り組み 1/3

(2024年度：2024年6月～2025年5月)

No.	環境経営目標	(実績基準値)	目標値	2024年度 (実績値)	評価 達成率	取組結果の評価
1	二酸化炭素排出量削減 単位：kg-CO2	178,864	173,498	156,945	○ 111%	目標達成 プラント特需に加え官民双方で受注が増加し、従来とは異なる大きな環境変化の一年となった。次年度もこの変化を注視しつつ、基本的な取り組みを着実に継続する。
<div><div><div><div>河野電気株式会社 社内報</div><div>11月号</div><div>エコアクション21現地審査が行われました</div><div>11月8日・9日にエコアクション21認証登録のための現地調査が行われました。</div><div>現地調査では、11月8日本社のエコアクション21第2項目は戦略事業部のデザインと工場現場の見学(緑田中学校)、そして最後に審査結果の説明が行われました。</div><div>今回審査を所与して頂いた千原孝典さんは、会社の新事業として当社の活動にインスピレーションを受けて頂いた社員の方に対するお褒めの言葉を多く頂きました。</div><div>今後の現場事業への結果を受け、さらなる取組がなければ今年中に達成出来ず1月中旬には認証を取得できる予定です。</div><div>今後ともエコアクション21の活動に力を入れてまいります。</div></div><div>【情報共有】</div><div>エコ活動の最新情報や取り組み状況は、社内報や掲示板を通じて、随時社員全員に共有。</div><div></div><div>【省エネ意識向上】</div><div>定期的な全社会議で、エコ活動の状況を共有し、他事業所との意見交換を実施。</div><div></div><div></div></div></div>						
No.	環境経営目標	(実績基準値)	目標値	2024年度 (実績値)	評価 達成率	取組結果の評価
1-1	電力使用量削減 単位：kwh	62,870	77,144	73,435	○ 105%	目標達成 酷暑による熱中症対策や資格試験対策用自習室の開設により空調使用は増加したが、基本的な節電の取組は習慣化している。次年度も取り組みを継続する。
活動の一例	<div><div></div><div>【社内照明LED化 電灯】</div><div>補助金を活用し、社内照明をLED化。トイレや倉庫には、人感センサーを設置し、消し忘れ防止。</div><div></div><div>【昼食時の消灯】</div><div>昼食時(12時～13時)は、社内の照明をすべてOFF。</div><div></div></div>					
No.	環境経営目標	(実績基準値)	目標値	2024年度 (実績値)	評価 達成率	取組結果の評価
1-2	ガソリン使用量削減 単位：ℓ	53,421	51,818	53,885	× 96%	目標未達 プラント系受注と県外案件の増大に伴い燃料使用は増加した。次年度も受注増加が一層進むことを踏まえ、状況に応じた目標設定を行い、基本的な取組を継続する。
活動の一例	<div><div></div><div>ガソリン使用量(ℓ)年間</div><div>52,591 46,423 49,823 52,816 53,885</div><div>2020年度 2021年度 2022年度 2023年度 2024年度</div><div></div><div>一人当たりのガソリン使用量(ℓ/日)</div><div>6.00 4.00 2.00 0.00</div><div>2019年度 2020年度 2021年度 2022年度 2023年度 2024年度</div><div></div></div>					

A-2. 環境経営目標の達成状況及び環境経営活動計画の実施状況、その評価結果と今後の取り組み 2/3

(2024年度：2024年6月～2025年5月)

No.	環境経営目標	(実績基準値)	目標値	2024年度 (実績値)	評価 達成率	取組結果の評価																								
1-3	軽油使用量削減 単位： ℓ	7206	6,990	1,225	○	目標達成 プラント工事の特需により発電機 使用工事は大幅に減少した。また、新たに導 入した蓄電池式発電機も、削減効果に寄与し ている。今後も適切な機器選定を行うなど、 現行の取組を継続していく。																								
					571%																									
活 動 の 一 例	<div>軽油使用量 (L)</div> <table><tr><th>年度</th><th>軽油使用量 (L)</th></tr><tr><td>2014年度</td><td>716</td></tr><tr><td>2015年度</td><td>410</td></tr><tr><td>2016年度</td><td>5,467</td></tr><tr><td>2017年度</td><td>11,647</td></tr><tr><td>2018年度</td><td>7,017</td></tr><tr><td>2019年度</td><td>3,509</td></tr><tr><td>2020年度</td><td>11,983</td></tr><tr><td>2021年度</td><td>5,702</td></tr><tr><td>2022年度</td><td>1,170</td></tr><tr><td>2023年度</td><td>1,644</td></tr><tr><td>2024年度</td><td>1,225</td></tr></table> <div> 7 エネルギーを安全に かつ持続的に 利用すること 13 気候変動に 適応すること</div>					年度	軽油使用量 (L)	2014年度	716	2015年度	410	2016年度	5,467	2017年度	11,647	2018年度	7,017	2019年度	3,509	2020年度	11,983	2021年度	5,702	2022年度	1,170	2023年度	1,644	2024年度	1,225	
年度	軽油使用量 (L)																													
2014年度	716																													
2015年度	410																													
2016年度	5,467																													
2017年度	11,647																													
2018年度	7,017																													
2019年度	3,509																													
2020年度	11,983																													
2021年度	5,702																													
2022年度	1,170																													
2023年度	1,644																													
2024年度	1,225																													
No.	環境経営目標	(実績基準値)	目標値	2024年度 (実績値)	評価 達成率	取組結果の評価																								
2-1	可燃物の削減 単位： Kg	1,964	2286	2,274	○	目標達成 受注数と社員数の増加により環境 は大きく変化している。分別の明確化や整理 整頓の徹底を図り、次年度も現行の取組を維 持・継続していく。																								
					101%																									
活 動 の 一 例	<div><div>【分別回収 屋内】 各ゴミ箱に種類別のステッカー を貼り、誰でも気軽に分別でき るようにした。</div><div>【分別回収 屋外】 分別ステッカーと中身の見える網 かご。見て分かるからすぐできる。</div><div> 7 エネルギーを安全に かつ持続的に 利用すること 12 つくばる資源 を大切に 使うこと 13 気候変動に 適応すること</div></div> <td></td>																													
No.	環境経営目標	(実績基準値)	目標値	2024年度 (実績値)	評価 達成率	取組結果の評価																								
2-2	産業廃棄物 リサイクル率維持向上 単位： %	78%	80%以上	62%	×	目標未達 プラント工事の増加により総排 出量は前年より60%減となった。しかし廃 プラ排出量は50%減にとどまり、結果とし て目標未達である。次年度も状況の変化を																								
					78%																									
活 動 の 一 例	<div><div>【回収BOX設置】 事前に分別回収BOXの設置。 金属とガラスに分別。</div><div>【撤去品分別】 撤去後の廃品、荷下ろしと 同時に分別、廃品回収は 速やかに、リサイクル率も向上。</div><div> 7 エネルギーを安全に かつ持続的に 利用すること 11 住み続けられる まちづくりを 12 つくばる資源 を大切に 使うこと 13 気候変動に 適応すること</div></div> <td></td>																													

A-2. 環境経営目標の達成状況及び環境経営活動計画の実施状況、その評価結果と今後の取り組み 3/3

(2024年度：2024年6月～2025年5月)

No.	環境経営目標	(実績基準値)	目標値	2024年度 (実績値)	評価 達成率	取組結果の評価
3	水使用量削減 単位： m <sup>3</sup>	223	248	242	○ 102%	目標達成 当番制による毎日のトイレ清掃を継続し、美化や節水への意識も高まった。今後も基本的な節水に加え、清掃活動などの取組を継続していく。
活動の一例	<div><div>【高圧洗浄機購入】 洗浄機の使用で70%の節水。 年末の大掃除で活躍。</div><div>【洗濯はまとめて】 洗濯は、毎週水曜日にまとめて一回が基本。手間も省ける。</div><div></div></div>					
No.	環境経営目標	(実績基準値)	目標値	2024年度 (実績値)	評価 達成率	取組結果の評価
5	社会貢献への参加 単位：回数	10	10	10	○ 100%	目標達成 小規模集落への応援隊も復活し、社内外で再び活発な活動が展開されている。次年度もこの取組を継続していく。
活動の一例	<div><div>【小規模集落応援隊】 高齢化、過疎化地区での除草作業に協力。</div><div>【清掃活動】 毎月第3土曜日は、会社周辺の清掃を実施。</div><div></div></div>					

結果の記載      ◎：特筆すべき効果あり      ○：目標達成      △：数量削減はできたが目標未達  
×：目標未達（削減もできなかった）

### A-3. 環境経営活動計画と評価

評価基準

◎：特筆すべき効果あり

○：目標達成

△：数量削減はできたが目標未達

×：目標未達（削減もできなかった）

環境方針 の番号	目標課題	具体的な行動（活動）	頻度	対象部門	評価
1	二酸化炭素 排出量削減		-	全部門	○
1-1	電力使用量削減	1. エアコン設定温度（冷房26℃±1℃、 暖房22℃±1℃）の徹底	毎日	全部門	○
		2. エアコンフィルター清掃	年1回	全部門	○
		3. 外出時・昼休み、不必要な時は消灯	毎日	全部門	○
		4. 外出時にはパソコンを閉じるか電源OFF	毎日	全部門	○
		5. 帰宅時はパソコンの電源OFF	毎日	全部門	○
1-2 1-3	ガソリン・軽油 使用量の削減	1. エコドライブの実施	毎日	全部門	○
		・急発進、急加速運転（スピードの出しすぎ）をしない	毎日	全部門	○
		・不必要なアイドリングをしない	毎日	全部門	○
		・不要な荷物を積み込んだままにしない	毎日	全部門	○
		2. 乗車前の点検（タイヤ空気圧など）	毎日	全部門	○
2-1	可燃物の削減	1. コピー用紙の裏紙利用又は両面コピーの推進	毎日	全部門	○
2-2	産業廃棄物リサイ クル率の維持向上	1. 分別の徹底をしリサイクル率を上げる	毎日	全部門	○
		2. 事務用品は詰替えできるものを優先する	適時	全部門	○
		3. リサイクルルート調査（廃プラ）	適時	全部門	○
3	水使用量削減	1. 手洗い・洗い物時は、こまめに蛇口を閉める	毎日	全部門	○
		2. 節水の啓蒙活動の実施	毎日	全部門	○
4	グリーン購入の 促進	1. グリーン製品の優先購入	適時	全部門	○
	職場環境改善	1. ノー残業デーの実施、水曜日の定時退社	毎週水	全部門	○
		2. 5Sの実施	適時	全部門	○
5	社会貢献への 参加	1. 地域の美化活動・ボランティア活動へ参加	適時	全部門	○
		2. 小規模集落応援隊の活動	適時	全部門	○

部門リーダー： 総務部： 担当者

営業部： 担当者

工事部： 担当者

#### A-4. 環境関連法規等の遵守状況のチェック結果

関係法令		チェック項目		チェック方法	チェック担当者	実施日	評価
1	廃棄物処理法	1)	産業廃棄物マニフェスト	マニフェスト管理状況確認	担当者	8月30日	○
		2)	委託契約書及び 廃棄物処理	契約書及び許可証の確認	担当者	8月30日	○
		3)	管理票の交付状況 定期報告	年間報告提出の確認	担当者	6月28日	○
2	家電リサイクル法	1)	テレビ・エアコン・ 冷蔵庫の廃棄時	産廃業者への確認	担当者	8月23日	○
3	資源有効利用促進法	1)	パソコン廃棄時	販売店への返却	担当者	8月28日	○
4	自動車リサイクル法	1)	購入時	リサイクル料の納付	担当者	6月4日	○
5	フロン排出抑制法	1)	定期点検	四半期ごと機器の定期点検	担当者	7月25日	○

※ 法違反なし、指導なし。苦情なし。

## A - 5. 代表者による全体の評価と見直しの結果

会社名	河野電気株式会社 本社
見直し実施日	2025/8/26
出席者	代表者（環境管理責任者）：南
	委員会：担当者 事務局：担当者

環境経営情報	代表者（環境管理責任者）のコメント
1 環境関連法規等の遵守状況確認結果	必要なものに関しては、問題なく実行できている。
2 環境経営目標の達成状況	項目によって成果に違いはあるものの、コロナ禍からの復興で現場数が飛躍的に増えたことを考慮するとまずまずの結果であり、地道な取り組みが功を奏している。
3 環境経営活動計画の実施状況	環境の変化に応じ、主体的な取組が実施できている。
4 問題点の是正、予防の状況	定量的な観察で、状況や傾向を把握できている。
5 外部からの苦情の有無及び対応結果	特になし。
6 環境上の緊急事態の訓練 結果及び対応結果	アイデアを凝らした実効性ある訓練を実施している。今後はさらに実践的で効果的な訓練を、多くの参加者を得て展開していきたい。
7 その他	特になし。

代 見 表 直 者 し の の 指 必 示 要 性 判 断 と	① 環境経営方針	変更なし。
	② 環境経営目標	環境変化で目標と実績の乖離が大きい場合は、達成可能性を見極め目標を再設定する必要がある。
	③ 環境経営活動計画	変更なし。
	④ 環境経営システム	変更なし。
	その他の指示	経済状況の変化と自社の変化（社員数増）の両方に注視しながら、適切な目標設定を行い、より実効性の高い取り組みを行う必要がある。目標設定に関しては項目によっては“総量目標”から“単位当たり（ex.一人当たり）の目標”などに切り替える必要あり。2050年のカーボンニュートラルに向けて自社なりのGXを進めたい。

## B 配電盤事業部の取り組み

### B-1. 環境経営目標

作成日： 2025/8/26

(2024年度:2024年6月～2025年5月)

環境経営 方針番号	選 択 課 題	2023年度 実績基準	2023年度 目 標 (基準年度比)	2024年度 目 標 (基準年度比)	2025年度 目 標 (基準年度比)
1	二酸化炭素排出量削減	234,530 Kg-CO2	232,185 △1%	227,541 △2%	220,715 △3%
1-1	電力使用量削減	336,189 kWh	332,827 △1%	326,171 △2%	316,385 △3%
1-2	ガソリン使用量削減	6,967 L	6,897 △1%	6,759 △2%	6,557 △3%
1-3	軽油使用量削減	1,464 L	1,449 △1%	1,420 △2%	1,378 △3%
1-4	LPG使用量の削減	13,481 Kg	13,347 △1%	13,080 △2%	12,687 △3%
2	産業廃棄物の削減	560 Kg	554 △1%	543 △2%	527 △3%
3	水使用量削減	423 m <sup>3</sup>	419 △1%	410 △2%	398 △3%
4	社会貢献への参加	2 回	2 回	2 回	2 回
5	グリーン購入の促進	2 品目数	2 品目数	2 品目数	2 品目数
6	化学物質の管理	適切な管理	適切な管理	適切な管理	適切な管理

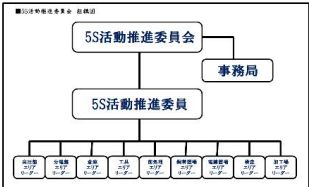


※ 新目標値(2023年度)：事業所新設のため目標値の再設定。

電力のCO2排出係数は、九州電力 2021年度0.391kg-CO2/kWh(調整後排出係数)を使用。





## B-2. 環境経営目標の達成状況及び環境経営活動の実施状況、その評価結果と今後の取り組み 1/4

(2024年度：2024年6月～2025年5月)

No.	環境計目標	2023年度 (基準年)	目標値	2024年度 (実績値)	評価 達成率	取組結果の評価
1	二酸化炭素排出量削減 単位：kg-CO2	234,530	227,541	141,319	◎ 161%	工場の稼働時間増加に伴い電気使用量が増加する内、デマンドシステム再設定や太陽光発電の活用、各エネルギー使用量削減の取り組みの成果もあり、結果、二酸化炭素排出量減少が実現できた。
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>5S委員会の発足</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>情報掲示活動1</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>情報掲示活動2</p>  </div> </div>						



No.	環境経営目標	2023年度 (基準年)	目標値	2024年度 (実績値)	評価 達成率	取組結果の評価
1-1	電力使用量削減 単位：kwh	336,189	326,171	323,410	○ 101%	太陽光発電の活用や、配電盤事業部が今期掲げた電気料3%カット取組を通し、目標値を達成するほどの削減を実現した。
取組活動の一例	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>デマンド監視</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>人感センサー導入</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>太陽光パネル</p>  </div> </div>					

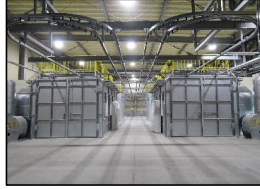



No.	環境経営目標	2023年度 (基準年)	目標値	2024年度 (実績値)	評価 達成率	取組結果の評価
1-2	ガソリン使用量削減 単位：ℓ	6,967	6,759	7,793	× 87%	経費削減の為、製品出荷を自社の社用車で多くを対応した結果、ガソリンの使用量が増加し目標未達となった。
取組活動の一例	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>エコドライブ活動</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>ドライブレコーダー設置</p>  </div> </div>					





## B-2. 環境経営目標の達成状況及び環境経営活動の実施状況、その評価結果と今後の取り組み 2/4

(2024年度：2024年6月～2025年5月)






No.	環境経営目標	2023年度 (基準年)	目標値	2024年度 (実績値)	評価 達成率	取組結果の評価
1-3	軽油使用量の削減 単位：ℓ	1,464	1,420	951	○ 149%	複数の製品を1度の運搬にて出荷するなど、日々の使用量削減の取り組みの成果として、目標達成に至った。
取組活動の一例	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>エコドライブ活動1</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>エコドライブ活動2</p>  </div> </div> <div style="text-align: right;">   </div>					






No.	環境経営目標	2023年度 (基準年)	目標値	2024年度 (実績値)	評価 達成率	取組結果の評価
1-4	LPG使用量の削減 単位：Kg	13,481	13,080	9,764	○ 134%	LPG使用量は昨年より継続して削減できており、外部製作増加や更なる作業効率化により、2年連続でLPG使用量削減を実現した。
取組活動の一例	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>塗装装置(全体)</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>塗装装置(粉塵循環装置)</p>  </div> </div> <div style="text-align: right;">   </div>					


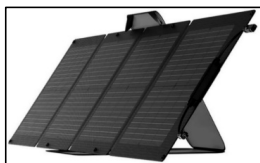





No.	環境経営目標	2023年度 (基準年)	目標値	2024年度 (実績値)	評価 達成率	取組結果の評価
2	産業廃棄物の削減 単位：Kg	560	543	505	○ 108%	梱包材に使用されていたエアークャップなどを簡易梱包の専用ビニールに切り換えを実施した結果、産業廃棄物の体積量が大幅に削減できた。
取組活動の一例	<p>廃棄物分別の徹底(可燃物、不燃物、再利用資源、産業廃棄物)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="text-align: right;">     </div>					

## B-2. 環境経営目標の達成状況及び環境経営活動の実施状況、その評価結果と今後の取り組み 3/4

(2024年度：2024年6月～2025年5月)

No.	環境経営目標	2022年度 (基準年)	目標値	2024年度 (実績値)	評価 達成率	取組結果の評価
3	水使用量の削減 単位： ℓ	423	410	458	×	日々の節水活動を実施しているが、従業員、外部からの作業応援者の増加に伴い使用量が増加したと考える。今後も継続して節水活動を実施する。
					90%	
取組活動の一例	<div>自動水栓導入</div> <div></div> <div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>					

No.	環境経営目標	2022年度 (基準年)	目標値	2024年度 (実績値)	評価 達成率	取組結果の評価
4	社会貢献への参加 単位：回	2	2	2	○	夏期と冬季に近隣の除草作業や清掃活動を実施した。今後も継続して取り組み、実施回数を増やして行きたい。
					100%	
取組活動の一例	流通業務団地清掃活動1					
						
取組活動の一例	流通業務団地清掃活動2					
	<div><div><div><div>3</div><div>すべての人に健康と福祉を</div></div><div><div>8</div><div>働きがいも、経済成長も</div></div><div><div>11</div><div>住み続けられるまちづくりを</div></div><div><div>14</div><div>海の豊かさを守ろう</div></div><div><div>17</div><div>パートナーシップで目標を達成しよう</div></div></div></div>					

No.	環境経営目標	2022年度 (基準年)	目標値	2023年度 (実績値)	評価 達成率	取組結果の評価
5	グリーン購入の促進 単位：品目数	適切な管理	適切な管理	2	○	梱包の簡易化として専用ビニールを導入し、輸送時の緩衝材も再利用可能な可動式クッションを採用した。
					100%	
取組活動の一例	新たに採用したポータブル電源とポータブル太陽光パネル					
	<div><div></div><div></div></div>					
取組活動の一例	新たに導入した緩衝材					
	<div><div></div><div><div><div><div>12</div><div>持続可能な消費と生産</div><div></div></div><div><div>3</div><div>健康と福祉</div><div></div></div><div><div>8</div><div>働きがい、経済成長</div><div></div></div><div><div>13</div><div>気候変動に具体的な対策を</div><div></div></div></div></div></div>					

結果の記載 :    ◎：特筆すべき効果あり    ○：目標達成    △：数量削減はできたが目標未達  
                          ×：目標未達（削減もできなかった）

B-2. 環境経営目標の達成状況及び環境経営活動の実施状況、その評価結果と今後の取り組み 4/4

(2024年度：2024年6月～2025年5月)

No.	環境経営目標	2022年度 (基準年)	目標値	2024年度 (実績値)	評価 達成率	取組結果の評価
6	化学物質の適正管理	適正に管理した	適正な管理	適正に管理した	○  100%	法規制を遵守した
取組活動の一例	<div>化学物質の適正管理</div> <div></div> <div></div>					

結果の記載　：　◎：特筆すべき効果あり　○：目標達成　△：数量削減はできたが目標未達  
×：目標未達（削減もできなかった）

### B-3. 環境経営活動と評価

評価基準

◎：特筆すべき効果あり

○：目標達成

△：数量削減はできたが目標未達

×：目標未達（削減もできなかった）

環境経営 方針番号	目標課題	具体的な行動（活動）	頻度	対象部門	評価
1	二酸化炭素 排出量削減		-	全部門	○
1-1	電力使用量削減	1. エアコン設定温度（冷房28℃±1℃、 暖房20℃±1℃）の徹底	毎日	全部門	○
		2. エアコンフィルター清掃	年2回	事務所	○
		3. 外出時・昼休み、残業時の不必要な時は消灯	毎日	全部門	○
		4. パソコンスリープ機能の使用徹底	毎日	事務所	○
		5. 退社時はパソコンの電源を切る	毎日	事務所	○
		6. オフィス機器を節電モードにする	適時	事務所	○
		7. 湯沸かし器のムダ遣い禁止	適時	事務所	○
		8. 板金工程での不具合（やり直し等）の削減	毎日	工場	○
		9. 塗装工程での不具合（やり直し等）の削減	毎日	工場	○
1-2 1-3	ガソリン・軽油 使用量の削減	1. エコドライブの実施	毎日	全部門	○
		・急発進、急加速運転（スピードの出しすぎ）をしない	毎日	全部門	○
		・不必要なアイドリングをしない	毎日	全部門	○
		・不要な荷物を積み込んだままにしない	毎日	全部門	○
		2. タイヤの空気圧のチェックの励行（給油時など）	適時	全部門	○
		3. 過積載を防止し、法定速度を遵守する	毎日	全部門	○
		4. 周辺所用への自転車の活用（片道2Km以内）	適時	全部門	○
1-4	LPG使用量 の削減	1. 塗装工程での不具合（やり直し等）の削減	毎日	工場	○
1-5	灯油使用量 の削減	1. 昼休み、残業時の不必要な時は暖房器具停止	毎日	工場	○
2	可燃物の削減	1. コピー用紙の裏紙利用又は両面コピーの推進	毎日	全部門	○
		2. 会議でのプロジェクター使用によるペーパーレス化	毎日	全部門	○
3	産業廃棄物 の削減	1. 廃棄物の分別（可燃物・産業廃棄物）の徹底	毎日	全部門	○
4	水使用量削減	1. 水量調節による無駄な取水の防止	毎日	全部門	○
		2. 手洗い時等、日常的な節水活動を推進	毎日	全部門	○
5	化学品の削減	1. 安全に扱う	毎日	工場	○
		2. 塗装工程での不具合（やり直し等）の削減	毎日	工場	○
6	社会貢献 への参加	1. 事業所周辺の清掃活動	適時	全部門	○
7	グリーン購入の 促進	1. グリーン対象の事務用品を優先して購入する	適時	事務所	○
部門： 事務所部門、工場部門					

# B-4. 環境関連法規等の遵守状況のチェック結果 1/2

遵守評価日
2025/6/20

関係法令		チェック項目	チェック方法	チェック担当者	実施日	評価
1	廃棄物処理法	1) 産業廃棄物の適正保管	マニフェスト管理状況確認	古屋	6月20日	○
		2) 産業廃棄物の適正処分	取引業者の処分先等確認	古屋	6月20日	○
		3) 投棄禁止	不法投棄の禁止	古屋	6月20日	○
		4) 産業廃棄物管理票 (マニフェスト) の交付と保管	保管期限(5年間)の遵守	古屋	6月20日	○
2	消防法	1) 消防設備(消火器具、自動火災報知設備、配線)の点検、報告	点検1回/年、届出1回/3年	工藤	1月30日	○
		2) 少量危険物の基準保存量の遵守	消防局による立入検査/適時	古屋	-	-
3	労働安全衛生法 (有機溶剤中毒 予防規則)	1) 安全衛生推進者の選任	現場確認	工藤	3月20日	○
		2) 有機溶剤の取扱場所での掲示	現場確認	河野	3月20日	○
		3) 有機溶剤作業主任者の選任	現場確認	河野	3月20日	○
		4) 有機溶剤を取扱う作業者への教育	社外講習の受講	河野	7月12日	○
		5) 定期に特殊健康診断を実施	2回/年	古屋	10月11日 6月4日	○
		6) 6ヵ月毎に1回、当該有機溶剤の濃度測定	立入検査2回/年	古屋	2月8日 8月7日	○

## B-4. 環境関連法規等の遵守状況のチェック結果 2/2

遵守評価日
2025/6/20

関係法令		チェック項目		チェック方法	チェック 担当者	実施日	評価
4	浄化槽法	1)	浄化槽設備の点検	外部委託/適時	古屋	毎月上旬	○
5	家電リサイクル法	1)	テレビ・エアコン・冷蔵庫の廃棄時	対象機器を排出する際の適切な引渡、料金の支払	古屋	-	-
6	資源有効利用促進法	1)	パソコン廃棄時	対象機器を排出する際の適切な引渡、料金の支払	古屋	-	-
7	フロン排出抑制法	1)	簡易点検	四半期ごと機器の定期点検	古屋	6月3日	○

環境関連法規等の遵守状況： 法令違反なし、指導なし、苦情なし

## B－5. 代表者による全体の評価と見直しの結果

会社名	河野電気株式会社 配電盤事業部
見直し実施日	2025/8/26
出席者	代表者（環境管理責任者）：南 委員会：担当者 事務局：担当者

環境経営情報	代表者（環境管理責任者）のコメント
1 環境関連法規等の遵守状況確認結果	必要なものに関しては、問題なく実行できている。
2 環境経営目標の達成状況	項目によって成果に違いはあるものの、仕事量の増加を考慮するとまずまずの結果であり、地道な取り組みが功を奏している。特に太陽光発電設備の設置と電気使用に関する日常的なデマンド監視・管理により、最終結果、二酸化炭素の排出量の削減に繋がったことは大きい。何よりも一人一人の環境負荷軽減に対する意識の向上が大きな原動力となっている。
3 環境経営活動の実施状況	環境の変化に応じ、主体的な取組が実施できている。
4 問題点の是正、予防の状況	定量的な観察で、状況や傾向を把握できている。
5 外部からの苦情の有無及び対応結果	特になし。
6 環境経営上の緊急事態の訓練結果及び対応結果	実効性のある訓練ができている。今後は不測の事態をより具体的に想定して更に実践的な訓練を実施していきたい。
7 その他	特になし。

代 見 表 直 者 し の 指 示 必 要 性 判 断 と	① 環境経営方針	変更なし。
	② 環境経営目標	環境変化による、目標と実績の乖離が著しいものについては、達成可能性を検討し目標の再設定が必要。
	③ 環境経営活動	変更なし。
	④ 実施体制の見直し	変更なし。
	⑤ 環境経営システム	変更なし。
	その他の指示	経済状況の変化と自社の変化（社員数増）の両方に注視しながら、適切な目標設定を行い、より実効性の高い取り組みを行う必要がある。目標設定に関しては項目によっては“総量目標”から“単位当たり（ex.一人当たり）の目標”などに切り替える必要あり。2050年のカーボンニュートラルに向けて自社なりのGXを進めたい。

## 6. 全社の環境経営活動実績値

(2024年度：2024年6月～2025年5月)

No.	環境経営目標	場所	実績基準	2022年度 (実績値)	2023年度 (実績値)	2024年度 (実績値)	2022年度増減 対基準年度
1	二酸化炭素排出量削減 単位：kg-CO2	本社	178,864	143,794	153,560	156,954	△ 21,910
		配電盤事業部	273,430	234,530	225,782	141,319	△ 132,111
		全体	<b>452,294</b>	<b>378,324</b>	<b>379,342</b>	<b>298,273</b>	<b>△ 154,021</b>
1-1	電力使用量削減 単位：kwh	本社	62,870	64,091	68,338	73,435	10,565
		配電盤事業部	322,202	336,189	313,091	323,410	1,208
		全体	<b>385,072</b>	<b>400,280</b>	<b>381,429</b>	<b>396,845</b>	<b>11,773</b>
1-2	ガソリン使用量削減 単位：ℓ	本社	53,421	49,823	52,816	53,885	464
		配電盤事業部	8,716	6,967	8,122	7,793	△ 923
		全体	<b>62,137</b>	<b>56,790</b>	<b>60,938</b>	<b>61,678</b>	<b>△ 459</b>
1-3	軽油使用量削減 単位：ℓ	本社	7,206	1,170	1,644	1,225	△ 5,981
		配電盤事業部	1,128	1,464	1,671	950	△ 178
		全体	<b>8,334</b>	<b>2,634</b>	<b>3,315</b>	<b>2,175</b>	<b>△ 6,159</b>
1-4	LPG使用量削減 単位：m <sup>3</sup>	本社	-	-	-	-	-
		配電盤事業部	11,513	13,481	13,481	9,764	△ 1,749
		全体	<b>11,513</b>	<b>13,481</b>	<b>13,481</b>	<b>9,764</b>	<b>1,968</b>
1-5	灯油使用量削減 単位：ℓ	本社	-	-	-	-	-
		配電盤事業部	-	-	-	-	0
		全体	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
2-1	可燃物量の削減 単位：Kg	本社	1,964	1,818	2,256	2,274	310
		配電盤事業部	-	-	-	-	-
		全体	<b>1,964</b>	<b>1,818</b>	<b>2,256</b>	<b>2,274</b>	<b>310</b>
2-2	産業廃棄物リサイクル率 の維持向上 単位：%	本社	78%	73%	68%	62%	-16%
		配電盤事業部	-	-	-	-	-
		全体	<b>78%</b>	<b>73%</b>	<b>68%</b>	<b>62%</b>	<b>-5%</b>
2-3	産業廃棄物の削減 単位：Kg	本社	-	-	-	-	-
		配電盤事業部	944	560	472	505	△ 439
		全体	<b>944</b>	<b>560</b>	<b>472</b>	<b>505</b>	<b>△ 384</b>
3	水使用量 単位：m <sup>3</sup>	本社	223	237	254	242	19
		配電盤事業部	447	423	442	458	11
		全体	<b>670</b>	<b>660</b>	<b>696</b>	<b>700</b>	<b>30</b>
4	社会貢献への参加 単位：回数	本社	10	11	10	10	0
		配電盤事業部	2	2	2	2	0
		全体	<b>12</b>	<b>13</b>	<b>12</b>	<b>12</b>	<b>0</b>



## 5. 取り組み事例の紹介 1/5

### 小規模集落応援隊

高齢者や過疎地域を支援するため、毎年草刈り応援隊として出動しています。



### 地域行事への参加

節分の日、幼稚園での豆まきイベントの一コマ。地域とのつながりを深める活動を続けています。



### 地域の清掃活動

地域美化を目的に、定期的な清掃活動を実施しています。



### エコドライブカード配布

車両の使用時には、環境配慮と節約意識を持って運転しています。



### ドライブレコーダー・バックモニター

全車両にドライブレコーダーとバックモニターを設置し、安全運転を徹底しています。



### バックモニター



## 5. 取り組み事例の紹介 2/5

### 社内報掲載

社内報を通じて、環境保護に関する取り組みを紹介し、社員の意識向上を促しています。



### 情報共有 (デジタル化)

社員への情報伝達は迅速かつわかりやすく、デジタル化を通じて実現しています。



### SDGs宣言

当社は国連の持続可能な開発目標 (SDGs) を支持し、それに基づいた社会の持続可能性向上に努めています。



### SDGs講習 (町づくりカードゲーム)

行政役と民間役に分かれてSDGs視点の街づくりゲームを体験し、SDGsの意義を楽しく学びました。



### 空ドラム・電線端材のリサイクル

使用済みドラムと電線端材をリサイクルし、資源を有効活用。これにより環境保護に貢献しています。





## 5. 取り組み事例の紹介 3/5

### ノー残業デー

毎週水曜日は定時退社と定め、節電と仕事の効率化を目指しています。プライベートの充実も願っています。



### 照明のLED化

社内照明をすべてLEDに変更し、より効果的な節電対策を実施しています。



### 全社一斉防災訓練（BCP）

毎年防災玄関に避難訓練を実施し、同時に自社で策定したBCP（事業継続計画）の模擬訓練も全社で行っています。この取り組みにより緊急時の対応力を高めています。



### 地震体験

避難訓練で、地震体験車による震度7を体験。実際の災害時でも冷静に対応できるよう、訓練を重ねています。



### シェイクアウト訓練（大分市主催）

巨大地震発生を想定し、各所で一斉に安全確保を行います。



## 5. 取り組み事例の紹介 4/5

### 熱中症対策

熱中症の症状と対処法をポスターで掲示しています。  
兆候を見逃さないためには、知識と配慮が重要です。



### 熱中症対策

熱中症対策として遮熱ヘルメットと空調服を導入しました。



### 熱中症対策

現場にスポットクーラを設置しています。  
冷風のおかげで、作業が効率よく進みます。



### 熱中症対策（現場）

現場にウォーターミストカーテンを導入し、炎天下での作業がより快適になります。



### トイレ、給湯室の5S

トイレ、給湯室の5Sをチェックリストで管理。清潔な職場から良い仕事が始まります。



### フリールーム開設

談話しやすいように柔らかなデザインにしています。  
多くの方にご利用いただきたいと思います。





## 5. 取り組み事例の紹介 5 / 5

### 安全衛生大会（ご安全に）

関係企業を招き、安全大会を実施。

安全と健康への理解を深め意識を向上させます。



### 方針発表会

毎年7月に開催し、今期の目標を全員で確認。

心機一転、それぞれの目標に向かいます。



### 社内技能コンクール（技術の継承）

大会への準備を通じて互いに教え合い、学び合う文化を大切にしています。

（会場は配電盤事業所にて）



表彰式後、全出場者。お疲れ様でした。



### 創立100周年記念祝賀会（2023年）

おかげさまで100周年を迎え、社長の挨拶に続いて、鏡割りや勤続表彰、新たに製作したPR動画の上映など数々のイベントを通じて盛大にお祝いしました。



## 7. 次年度以降の取り組み

### A 本社の取り組み

#### A-1. 環境経営目標

(2025年度:2025年6月～2026年5月)

環境方針 の番号	選 択 課 題	実績 過去3ヶ年(基準)	2025年度 目 標 (基準年度比)	2026年度 目 標 (基準年度比)	2027年度 目 標 (基準年度比)
1	二酸化炭素排出量削減	181,847 kg-CO2	180,029 △1%	178,210 △2%	176,392 △3%
1-1	電力使用量削減	87,451 kWh	86,576 △1%	85,702 △2%	84,827 △3%
1-2	ガソリン使用量削減	59,978 L	59,378 △1%	58,778 △2%	58,179 △3%
1-3	軽油使用量削減	1,308 L	1,294 △1%	1,281 △2%	1,268 △3%
2-1	可燃物の削減	2,958 kg	2,928 △1%	2,899 △2%	2,869 △3%
2-2	産業廃棄物リサイクル率 の維持向上	70 %	70%以上	70%以上	70%以上
3	水使用量削減	250 m <sup>3</sup>	247 △1%	245 △2%	242 △3%
5	社会貢献への参加	10 回	10	10	10

電力のCO2排出係数は、九州電力 2024年度0.449kg-CO2/kWh(調整後排出係数)を使用

※ 「4.グリーン購入」は、目標として記載しないが環境活動の一環として取組む